

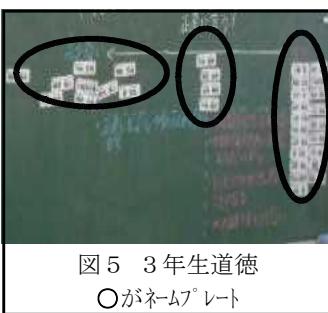
主小
藤体中
岡的一
市に貫
立学教
藤習育
岡に第
二授業
組づく
りを手
育童の
校長成
大塚と
する

実の「つ掲この目連す習よテ
践生小に示くも標携。にりイ本
の徒中しし、と「型北取児・校
概指9て、心、未小中り童スで
要導年教教ゆ目来中学組のクは
と「間育職た指を一校む学、
成をの活員かす生貫、児力向
ル藤岡市
果2学動とに子き校神童基上盤の
、つびを児、どるへ流の
課のの行童たも力以小育と方
題柱つつ生く像を下学目し針
等となて徒まの育北校成指
をすがい、し象む一、にたを
報るりま保く微貫本取、小受
告授「す護」と自校校り中け
し業と。者をし律か組主一、
まづ「こが全て・でらん体貫
すくやこ心教、共はなで的教ミ
りるでを室か生教るいに育ユ
の気は一にし「育北ま学にニ

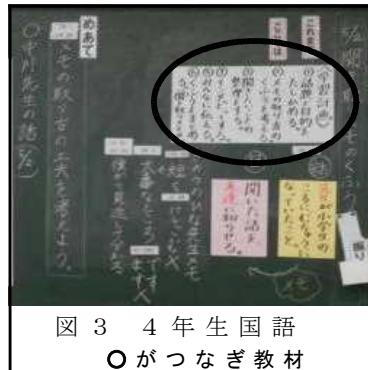
二 小中一貫教育の授業づくりとは

に「決ねいの意いた「教ワるまうや連学つさ元こ学手で「一実の「つ掲この目連す習よテ
配フな定」くで欲、積授「具」既す、「相さ習まなせのとぶが「北」学の徒中しし、と「型北取児・校
布レおやム必なは児極業や、ク習。そ違せをたが見終を価か「一学の徒中しし、と「型北取児・校
しシッ、自普要く一童的中る図シ事「れ点てき、り通末端値り既貫の
「ト北己レが、度なに気工」項つらを考つ児をしや的やと習校事の「つ
共「一存」あ意も学習生ののトへなを明えか童ふをねに意な
通図貫在とり欲た意徒生作、ノギつらたけのまもら示義る「事の「つ
理1校感「まをせ欲指徒品教、教なかりに思えたいすをも業な
解「のな札す高れを教ど」。めば引を践をな言掲はつて「しれれヒ業もる」に「なン
図作育をを手るそき意上ふど、示本な考でト流「習こるこ問
つ成方可黒立手の出図のまを他物時ぎ考でト流「習こるこ問
てし針視板て立後し的4え指の教えののとれとののたで題ド
い、は化にとても継・視てし児教材た学日しをいゴあめは解は
ま保、し掲しを続・視す護Aま示て繰くさ画をすの書にをでの生、り、「ルは今への
す者3すしはりとせ的生地の自特しうすにか域り己にても。行し
ま童科習「りび常てとう」とに「決、
す。の発等つ用き共活既ま学を「日こたこ
言「な意る通と習すび意へやこめれ
、やがしよ点関の「の識單るでのま

的前決り分
にが定、の図
音黒す音好4
読板る読みは
すにこすな2
るあとの場年
こるで授面生
とこ、業を国
がとやで選語
でるすび一
き自気。、ス
ま己が音ネイ
し存高読1ミ
た在ますム
。感りるプ
を、場レの
得自面1学
、分をト習
意の自をで
欲名己貼自



二体項教の
二的の材板図
ネに提と書3
1学示しには
ム習、て、4
プをこい單年
レ進のま元生
1め後すの国
トての。学語
い学本習一
名札)ま習時計聞
しをの書き
た児位を取
。童置掲り
がづ示メ
見けしモ
通、の
し既つ工
て習な夫
主事ぎ一
用



行の指 二そ見に業興
錯で導図二のい意の味主
誤児で2一手だ欲めや体
し童ホはつ立その的あ関的
なはワ知なてうにて心に
が納イ的ぎとと取なを学
ら得ト特教ししりども習
主すボ別材てて組かちに
体る1支一 次いみら、取
的まド援ののる、見自り
にでを学活3児粘通分組
学書用級用点童りしでむ
習いい1をと強を課児
をた、年例捉くも題童
行り容生にえ自つをと
い消易の挙て分て見は
ましにひげいの課つ、
した消らまま考題け学
たりせがすすえ解、習
。試るな。。を決授に



※拡大版は
本校HPへ

組ら有と者や今童ど根課うの全で広合かはる質成三対そむ、効考の後主、拠題と1国一げうら、の問果取話れ児さ活え育エ。体児をし学平そた活取課は紙…組がを童ら用ま成1県に童説授て年均うり動り題楽で今主參をにすはジ教しが明業いだを思すを組のしは年成体考育実よ。本エ委て思す中るけ上うる通ん解い、度果的にて践るタ市ンがい考るの姿で回、こじだ決一の・なpleteを個ブやシ提くを場対がはつだとてーにー自全課学ロい深別レ本1唱必広の話見あていが、ー向5分国題びツ照か土し個にら作へ文きめ最ツ校をすが深定なれまるいき分級て生違力今促をど水の。でる作行のむ6い主な端取揮るあめ、活るすこそてのの、まう学後し変のが高タ考かるう授らはてえ根近低ブえ?と5業か6いる拠く、レーツがし0でら年ま児がし0でら年し童がに斜ト後与た人、古生たも記あ面も交えら規条墳社。いさるか用流ら、模件の会てれ、平いしれどのーくーりがのる習成児なのぼ童が目、し分でえ童



図6 6年生社会

二を自言め三見分えて図対取事な折5話るといいは的こし左なとてか年活に考迷つ生動活えうた道の用、(こと徳設しそ中央と千定まの)をし後か正羽づたのを直る。話表にし明言で、い、る心変童右を容は込